直売向けスイートコーンのトンネル早熟作型の品質改善技術の開発

【研究概要】

鮮度が低下しやすいスイートコーンは、「とれたて」が提供できる直売に向いた品目である。出荷期を早めると有利に販売できるが、品質や穂重が低下しやすいため、この作型に適する安定生産技術を開発するために試験を実施した。

（１）スイートコーン４品種を比較したところ、いずれの品種も２月５日播種の場合は収穫日が５月中となった。皮なし穂重は「ゴールドラッシュ、ゴールドラッシュネオ」が大きかった。

（２）苗の葉数を比較したところ、収穫日は４枚区で早くなる傾向にあった。皮なし穂重は２枚区と３枚区で重かった。糖度は４枚区で高かった。

（３）育苗時のセルトレイの穴数を比較したところ、２月５日播種については、128穴もしくは200穴セルトレイを使用すると穂重が大きくなった。